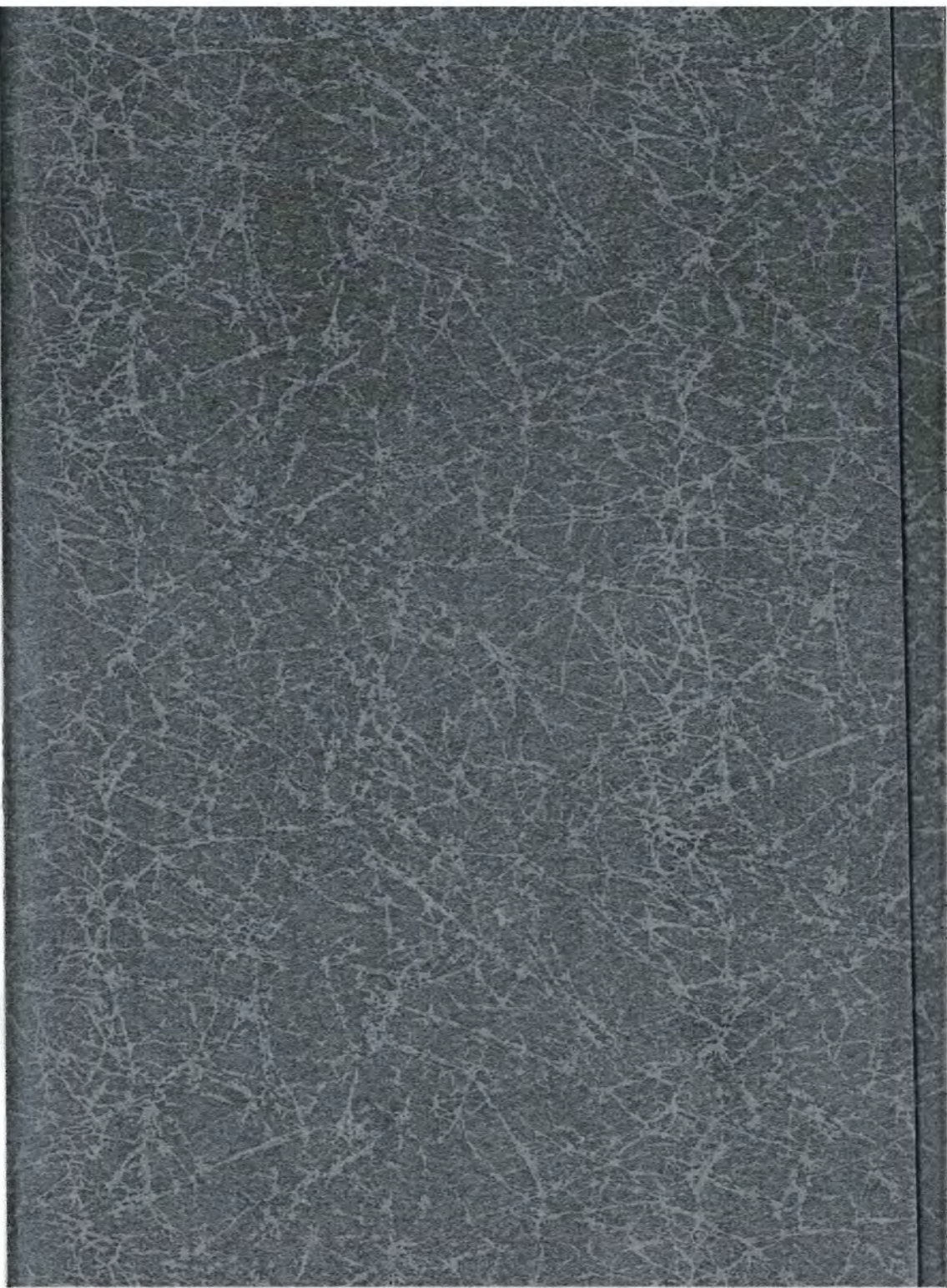


三笠宮殿下古稀記念

オリエント学論集

日本オリエント学会編

小学館



目次

三笠宮殿下御肖像	3
三笠宮殿下御略歴	3
三笠宮殿下御著作目録(歴史学に関するもの)	6
学術面における国際的御活動	8
序 江上波夫	11
例言	15

論文

古代オリエントの象牙彫刻について ——収集資料による考察——	石黒孝次郎	25
アラム・イラン混成語形とその周辺 ——シロアスター在世代論へ——	伊藤義教	40
八角表象の意味するもの	井本英一	49
ルリスタン青銅器とササン様式銀器におけるアナーヒター女神像について	江上波夫	61
クルト・ジンガールのギリシア社会論	太田秀通	89
古代テル・ゼロールの基本的性格	小川英雄	100
アルIIフスタート出土のコイン	川床睦夫	112
ペルシア詩のスタイルについて	黒柳恒男	129
トハーンリスターンのエフタル、テュルクとその城邑	桑山正進 堀記吉田豊	140
ドゥラIIユーロポスのパルミラ人	小玉新次郎	155
『コーラン』にみえるウンマ	後藤晃	166

ウル第三王国五代の王イッピースイスーンの即位慶祝外国使節団
ムスリム支配下のササン朝軍人

ディオニソス信仰・葡萄酒の東方伝播
——ガンダーラ彫像への影響——

ササン朝美術の円形頭光背に関する一考察
外務省御用掛吉田正春波斯渡航一件

平和の君キリスト
——エペソ人への手紙二・二四—一八解歌の試み——

šit šamisi-ereb šamisi についての一試論

ガザリーの法学(*fiqh*)観

アラブ否定語 *MA* の特殊用法

現段階におけるユダヤ人研究者のイエス観
——熱心党をめぐる論考を中心として——

バルティヤ・ササン王朝時代のガラスに

見られる挟持装飾の技法とその東漸について

シュメールにおける王権と社会正義

五味亨 176

嶋田襄平 182

杉山二郎 191

田辺勝美 205

中岡三益 221

中川秀恭 234

中田一郎 247

中村廣治郎 252

伴康哉 263

秀村欣二 282

深井晋司 292

前田徹 301

古代メソポタミアにおける神の婚礼の意味について

『タリーヒ・ラシーデー』の史料について

九—一〇世紀前半のエジプトと中国
——東西陶磁貿易上より観たる——

オスマン帝国に於ける「西洋化」と「世俗化」の歩み
——一八世紀を中心に——

シュメール語の動詞における *Telic/Atelic* の対立について

一オリエンタリストのビザンツ像
——リニッケルトの詩集『ヘレーニス』から——

写真図版 (I~XII)

393
404

随筆

献上 黒織部茶盃 鈴木青々

献上 ラスター彩兔文古稀賛茶盃 加藤卓男

宮様と犬と

板倉勝正 409

407

406

雪間の若杉

歴史雑考（シルクロードと百斯篤）

殿下の出版界に寄せられるご厚情

澄宮様から三笠宮様まで

私とプリンス

三笠宮様ご一家の思い出

殿下とわたし

ご縁を結ばさせていただいて

三笠宮殿下と花鳥諷詠詩

創立初期の御心労を偲んで

三笠宮様のこと

壽

古稀をお祝いして

思い出すままに

三笠宮様の古稀をお祝いして

稲田悦子

411

岩崎旺太郎

413

相賀徹夫

415

加藤巳一郎

417

愚楽ウツク自來ジライ

419

佐々木榮一郎

423

城崎進

424

千宗室

426

高木晴子

428

武永四郎

430

鶴岡匠巳

431

中山善衛

432

野村幸祐

434

羽田明

436

平山美知子

438

殿下に励まされて

福嶋寿卓

440

殿下に魅かれて古代の夢を

増山道保

442

三笠宮殿下・同妃殿下をお迎えして

真鍋利光

444

—— 第一回香川オリエントセミナー ——

宮様の思い出

丸川仁夫

447

遺跡発掘の新しい試み

本山政雄

448

宮様を講師にお迎えして

山本朗

450

日本オリエント学会の末席にはべりて

吉川逸治

452

英文目次

458